

# 新型コロナウイルスから いのちとくらしを守れ!



感染拡大防止・区民の苦難軽減  
避難所拡大など災害への対策を

区長にコロナ対策要望を手渡す区議団

2020年第2回定例区議会は、新型コロナウイルスの世界的大流行の中で開かれた。日本共産党区議団は、「区民アンケート」に取り組み、6回にわたる江戸川区への「緊急要望」を行いました。その中で「コロナ対策緊急融資」や区独自のドライブスルー検査センター、軽症者のためのホテルの借り上げなど、区民の不安にこたえる施策を後押ししてきました。今議会でも更なる対策の充実を求めて奮闘しました。

## 感染防止と経済の両立のため PCR検査の抜本的拡充を

**質問** 世界の人口10000人当たりの検査数は、6月16日現在、イタリア77人、アメリカ71人、イギリス59人、韓国21人に対し日本2・7人(江戸川区2・5人)とけた違いに少ない。①区が独自に設けたドライブスルー検査センターの拡大を。②

医療・介護・福祉・保育・教育等で働く人に公費で定期的にPCR検査等を。

**答弁** ①感染の流行状況に合わせて必要な人が検査を受けられる体制を継続する。②医師の診断以外の希望者は自費で検査を受けることになる。

## くらしと営業・文化芸術を守る経済対策を

**質問** 練馬区のとんかつ店の店主が「将来を悲観して」焼身自殺を図った。国や都の支援が届くのが遅すぎる。①国と都の支援制度は「事前審査」から「事後審査」への要望を。②江戸川区の1学期間の「学校給食無償化」の継続と、品川区が区民1人

3万円(中学生以下5万円)の支給を決めたように区独自の給付金を。

**答弁** ①事実と異なる申請などがあり、事後審査は困難。審査の簡素化は要望している。②財政状況を考えながら、現時点では実施しないという判断。

## 感染拡大防止と災害から区民のいのちを守るために

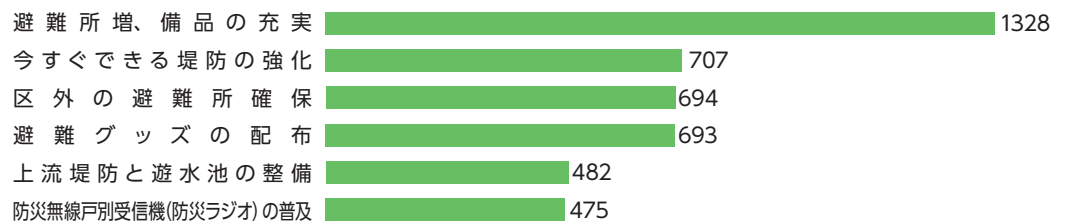
**質問** 気候変動による災害の激甚化と新型コロナウイルス感染拡大が重なるもとで、①地域防災計画や当面の防災対策の見直しを。②検温やゾーニングなど避難所の感染防止対策と、プライバシー・ジェンダー平等を。③避難所の拡大や分散避難のため、ホテル・旅館、企業に避難所提供の要請を。

**答弁** ①常に災害対策を見直しており、今

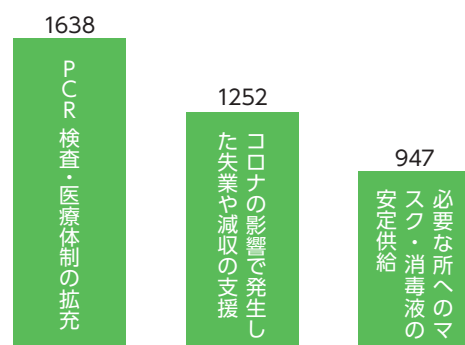
回も見直しを検討していく。②避難所の感染症対策を行い、プライバシー・ジェンダーにも配慮していく。③都立高校10校も避難所としての協定を締結。また、ホテルなどにも避難所拡大の協議などにより、受け入れ施設を拡充していく。  
\*他に、「医療機関への補助」や、「コロナ後の社会」などについて質問しました。

### 区民アンケート集計結果

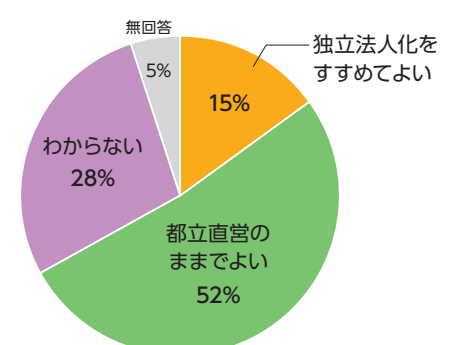
#### 災害対策に望むこと(3つまで○)の上位6つ



#### コロナ感染症への対応策について



#### 都立墨東病院の独立行政法人化について



## 補正予算で区民の願い実現!!

### 給食費無償化(1学期) パソコンを全児童・生徒へ

子育て世帯は3か月近くの休校で食事代など負担増。給食費の無償化を求めました。1学期は無償化実現。また、子どもの勉強のことが心配で、オンライン授業を求める声も。小中学校の児童・生徒5万人分のパソコンを各家庭の通信環境も含め整備します。

### 中小企業支援拡充

江戸川区の中小企業事業所は約21000。新型コロナウイルスが発生し、直ぐに様々な形で江戸川区の事業所に影響。区は早期に売上減少事業所救済の融資を実施。多くの金融機関の協力で利子負担無しに。9月まで延長、固定費への融資支援も。